

232) やり直したい

ひきとめてくれればいと 心の中で思ってたけど
さよならをいったときには もうおしまいとわかっていたわ
ふり向けば涙が出そうで 後ろも見ずに走り始めた
過ぎて行く秋の陽射しが ^{ひぎ} 翳りが ^{かげ} はじめて冬を感じた

ほんとうはあなたのことを ほかの誰より愛していたの
そのことに気づいてくれない のんきなあなた はがゆかったわ
あの時に私の名前 呼んでくれたら今日はなかった
過ぎて行く青春の道 戻ることなど できやしないの

あの日から3年過ぎて 指をからませ あなたと歩いた
乃木坂のあの坂道を たった一人で歩いてみたの
アカシアが たわわに咲いて 待ち合わせしたコーヒーショップ
過ぎて行く夏の陽射しが 昔の日々を語りかけてた

人生をやり直すこと 許されるならもう一度だけ
あなたとの思い出の日々 素直になって やり直したい
この道をあなたの腕に すがりつくよに歩いていた
過ぎて行く青春の日々 私の夢が ^{こわ} 壊れてく

過ぎて行く夏の陽射しに 私の夢が壊れてく